

北部図書館の管理運営について

読書日本一のまちづくりに向けた本市の読書環境の充実および多世代の住民の交流を促進し、地域の方々に愛着と親しみを持ってもらえる施設となるよう、また複合施設ならではの取組ができるよう、速野公民館・会館と連携し、管理運営を行っていきます。

休館日は、本館の休館日である月曜と異なる曜日にし、利用者の利便性を図ります。

1 オープン日時

令和 5 年 11 月 13 日（月）午前 10 時

2 開館時間および休館日について

開館時間 午前 10 時から午後 6 時まで

休館日 毎週木曜日、資料整理日（原則・毎月第 1 金曜日）、年末年始（12/29～1/3）

3 職員体制について

司書 3 名体制による常時 2 名勤務（専任 2 名、兼任 1 名 計 3 名）

4 愛称について

速野学区まちづくり協議会・中洲学区 21 活動協議会などから構成された 9 名からなる北部図書館愛称選定委員会の選定により、応募総数 214 作品の中から「**本の湖（ほんのうみ）**」に決定されました。

名前の由来としましては、本館の本の森と呼応し、びわ湖に水が集まるように人が集まり、いろいろな活動がさざ波のように広がってほしいとのことからです。

5 開館記念式典および開館記念講演について

(1) 北部図書館開館および速野会館、速野公民館ならびに速野支所リニューアル記念式典

日時：11 月 13 日（月）午後 3 時 30 分から 4 時 30 分まで

場所：北部図書館および速野公民館（多目的室）

(2) 北部図書館・本の湖開館記念講演

日時：12 月 16 日（土）午後 2 時 30 分から 4 時 30 分まで

場所：速野公民館（多目的室）

講師：今村 翔吾 さん（『塞王の楯』で第 166 回直木賞受賞）

演題：「人はなぜ歴史を学ぶのか」

6 今後の取組について

子どもと高齢者に重点をおき、地域や校園、公民館等と連携し活動を行います。

(1) 子どもと本の出会いの場として

おはなし会の開催

公民館事業である親子ほっとステーションと連携して赤ちゃん対象のおはなし会、おはなしボランティアと協働して未就学児対象のおはなし会、また、小学校と隣接した立地であることから小学生対象のおはなし会など、子どもと本をつなげる活動を行います。未就学児対象のおはなし会は週1回開催予定です。

地域ボランティアや子ども文庫とも協力し、子どもと本との出会いの場が広がるよう取組を行います。

(2) 高齢者のいきがいの場として

高齢者サロンなど、公民館事業と連携し、複合施設ならではの取組を行います。

高齢者むけおはなし会や、みんなで一斉に声をだして本を読む音読教室の開催など、地域の高齢者が図書館資料を利用し、活動できる取組を行う予定です。

(3) 読書の楽しさを広める活動として

ア 利用者のおすすめ本のコーナーの設置

面白かった本の感想などを所定用紙に記入してもらい掲示、本の展示を予定しています。

イ ドーム型の読み聞かせコーナーを利用した取組

北部図書館には特徴あるドーム型の読み聞かせコーナーが設置されます。おはなし会に活用する以外にも、希望する利用者が、子どもに絵本を読むことをチャレンジする場として活用したいと考えています。子どもたちに絵本を読む体験から、本を読む楽しさの再発見、また読み聞かせ活動への興味を沸き立たせることを目的とします。

(4) 図書館サポート隊事業

ア としょかんかざり隊！…本館の活動のなかで作ったものを北部にも飾ります。またちょっとした時間に参加できるように掲示物を工夫することで（例；魚の形に折った折り紙を利用者が来るたびに自分で貼り、1か月かけてスイミーをつくるなど）来館の楽しみにつなげていきます。

イ 本おなおし隊…時間帯、場所を工夫しながら少人数での開催を検討しています。

ウ サポート隊全体…現在本館で活動しているサポート隊の活動紹介などを通し、「こんなことをしてるんだ」「私もやってみたい」等、人と人が結びつくよう取組みを進めていきます。